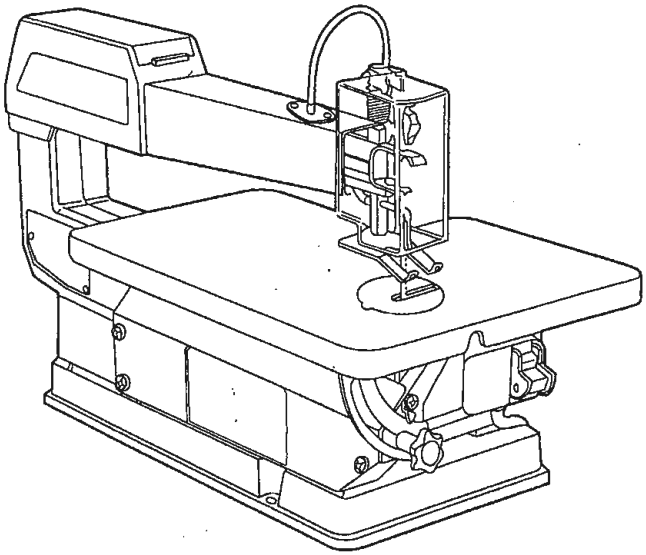
RYOBI®

卓上糸ノコ盤

TF-45

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

・安全上のご注意 …… 1～4
・各部の名称・仕様 …… 4
・付属品・別販売品・用途 …… 5
・各部の組立 …… 6～7
・操作方法 …… 8～12
・運　転 …… 13～14
・特殊な切断 …… 15
・保守と点検 …… 16

1980070 (M)

このたびは、リョービ卓上糸ノコ盤をお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「⚠警告」、「⚠注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警 告

1．作業場は、いつもきれいに保ってください。
　・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2．作業場の周囲状況も考慮してください。
　・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
　・作業場は十分に明るくしてください。
　・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3．感電に注意してください。
　・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
　（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4．子供を近づけないでください。
　・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
　・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5．使用しない場合は、きちんと保管してください。
　・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6．無理して使用しないでください。
　・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7．作業に合った電動工具を使用してください。
・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
・指定された用途以外に使用しないでください。
8．きちんとした服装で作業してください。
・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9．保護めがねを使用してください。
・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10．コードを乱暴に扱わないでください。
・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11．加工する物をしっかりと固定してください。
・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12．無理な姿勢で作業をしないでください。
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
13．電動工具は、注意深く手入れをしてください。
・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14．次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・使用しない、または修理する場合。
・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。
15．調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16．不意な始動は避けてください。
・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17．屋外使用に合った延長コードを使用してください。
・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18．油断しないで十分注意して作業を行なってください。
・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
・常識を働かせてください。
・疲れている場合は、使用しないでください。

19. 損傷した部品がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可能部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
    - スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
    - 本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
    - 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
    - 修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

卓上糸ノコ盤ご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、卓上糸ノコ盤をご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

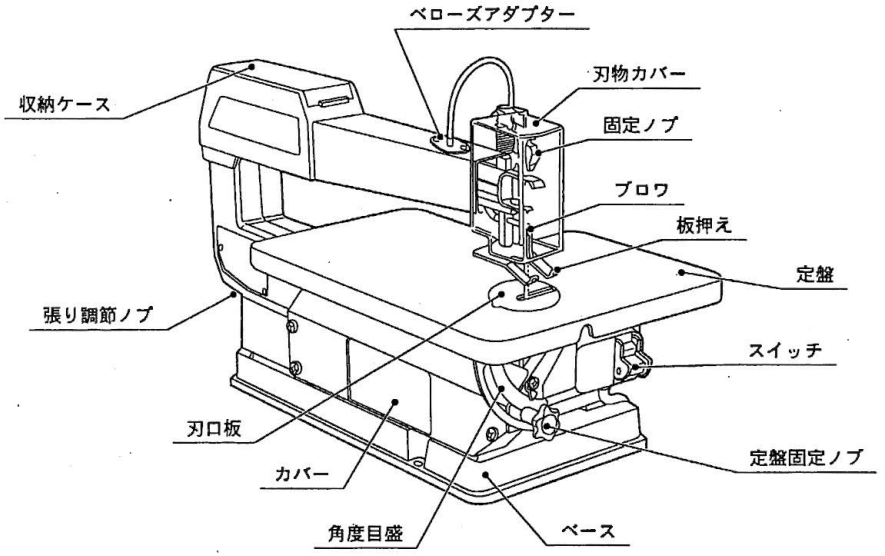
⚠ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
    - 表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. 使用中は、刃物（ブレード類）に手や顔など近づけないでください。
    - けがの原因になります。
3. 使用するときは、刃物（ブレード類）がむきだしにならないよう刃物カバーをしてください。
    - けがの原因になります。
4. 使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
    - そのまま使用しているとけがの原因になります。
5. 誤って落としたりぶつけたときは刃物（ブレード類）や機体などに亀裂、変形がないことをよく点検してください。
    - 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
6. 糸ノコ盤を台に固定するか木ネジなどですべりにくい台(ゴムのマット上等)に水平に糸ノコ盤をおいてください。振動で機体が動き台から落ちる恐れがあります。
7. 刃物（ブレード類）でコードを切断しないよう注意してください。
    - 感電の原因になります。

⚠ 注 意

1．刃物（ブレード類）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・確実でないと外れたりけがの原因になります。
2．切断中材料を無理に押しつけたり曲げたりするとブレードが破損することがありますので注意してください。
3．糸ノコ刃は、まっすぐに取付けてください。刃の寿命に影響が出たり、切断の際、曲がって切れるなどの原因となります。
4．通常タイプの糸ノコ刃を取付けの為に切断する際は保護めがねをご使用ください。
・糸ノコ刃の端は、ブレードアダプターに確実に入れてから締付けてください。浅かったり、締付けがゆるいと、切断作業中に抜け落ちることがあります。

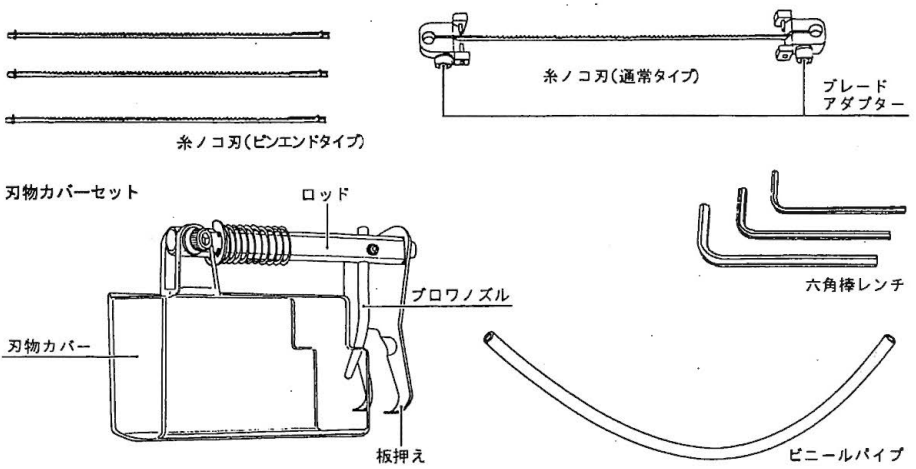
■各部の名称



■仕様

電源	100V	
周波数	50Hz	60Hz
消費電力	130W	150W
電流数	1.61A	1.58A
ストローク数	1,390spm	1,700spm
ストローク量	20㎜	
最大ふところ寸法	400㎜	
切断能力	最大加工材厚45㎜(木工)	
定盤傾斜	0°～45°（片側・左下り傾斜のみ）	
糸ノコ刃寸法	全長133㎜(ピン間隔127㎜)	
定盤面高さ	180㎜	
機体寸法	幅290×奥行550×高さ360㎜	
ベース据付寸法	220×405㎜	
コード長さ	1.8m	
重量	20.5kg	

■通常付属品



- 糸ノコ刃　通常タイプ（60山）…… 1本（ブレードアダプターセット済）
  ピンエンドタイプ（60山）…… 1本
  ピンエンドタイプ（72山）…… 2本（1本は本体にセット済）
- ブレードアダプター　2ヶ（通常タイプの糸ノコ刃を使用するときに使います。（通常タイプの糸ノコ刃にセット済））
- 刃物カバーセット（刃物カバー・ロッド・ブロワノズル・板押え付）…… 1組
- ビニールパイプ（ブロワ用）…… 1本
- 六角棒レンチ（2.5㎜・3㎜・4㎜）…… 各1本

■別販売品

- 糸ノコ刃（ピンエンドタイプ）40山・5本入り
  60山・5本入り　} 木工用
  72山・5本入り

（注）通常タイプの糸ノコ刃は市販品をご利用ください。全長を135㎜の長さに合わせペンチなどで切断のうえ、付属品のブレードアダプターにセットしてご利用ください。

■用途

- 木材の直線・曲線切り、中抜加工

■各部の組立

工場出荷の際、定盤は傾斜した状態で梱包しています。また、刃物カバーセット、ポンプなどは本体に組付けていません。
説明の順に合わせ、組立ててください。

⚠ 警 告
・各部の組立、調整、部品交換等の際にはスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因となります。

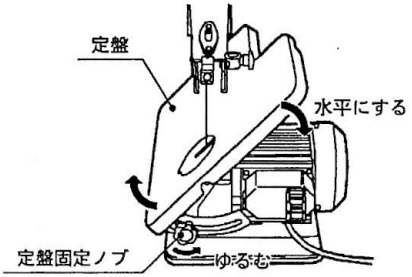
●梱包の内容確認

本体および付属品など部品の数量については5ページの「通常付属品」表を参考に、確認してください。

●定盤を水平にする。

定盤は傾斜した状態で梱包しています。定盤下の定盤固定ノブをゆるめ、定盤を水平にしてください。角度目盛「0°」に合わせてから、定盤固定ノブを締付け、固定します。

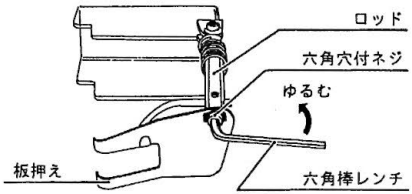
（注）定盤下に、輸送保護のためのダンボールが入っています。取除いてください。



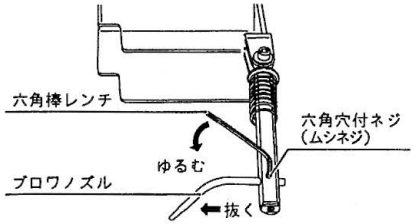
●刃物カバーセットの組付け

1．板押えを固定している六角穴付ネジを、付属品の六角棒レンチ（3㎜）を使いゆるめ、板押えをロッドから取外します。

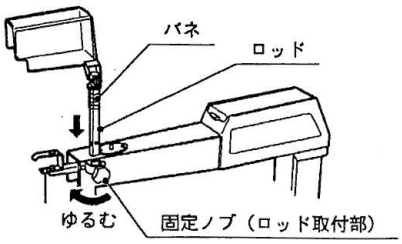
（注）六角穴付ネジを外したとき、一緒にはずれる座金をなくさないように、注意してください。



2．ロッド側面のブロワノズル固定用の六角穴付ネジ（ムシネジ）を、付属品の六角棒レンチ（2.5㎜）を使いゆるめて外し、ブロワノズルを前側へ抜取ります。

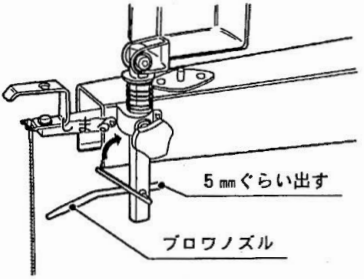


3．本体、上アームの側面にある、ロッド取付部の固定ノブをゆるめ、上からロッドを通します。このときロッドの平面、ムシネジの穴のある面を固定ノブのある方向に合わせて通します。
バネがロッド取付部の上に当るまで通します。固定ノブを締付けてください。



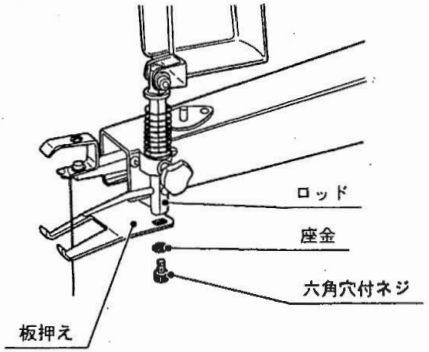
4．さきに抜取ったブロワノズルを、ロッドの前側よりロッドに通します。後側へおよそ５㎜ぐらい出したところで、ムシネジを使い軽く締付けて、固定します。

（注）ブロワノズルが動かない程度の固定としてください。

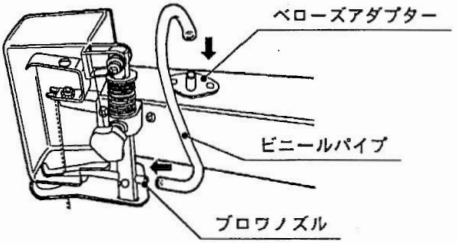


5．板押えをロッド下の突起に合わせ、座金、六角穴付ネジを使い、締付けて固定します。このとき、板押えの上下面、前後方向に注意してください。

（注）板押えのロッド取付口は前後方向に微調整ができるよう、やや大きめの抜き型となっています。
ほぼ、中央くらいの位置で固定されるようにしてください。



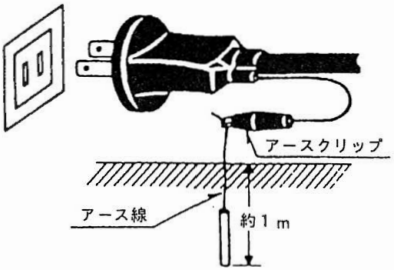
6．ビニールパイプをベローズアダプターの上の接続口へ根元までさし込みます。残る一方の端を、ブロワノズルの後ろ側にさし込み、接続します。



■操作方法

●アースについて

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用ください。
- アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。



●スイッチ操作と電源接続

⚠ 警 告

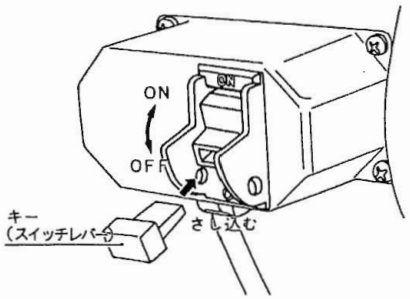
・電源を入れる前に、調整用の六角棒レンチ等の工具類を取外してあることを確認してください。工具類が飛び、けがの原因になります。
・電源は100Ｖを使用してください。100Ｖを超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 注 意

・スイッチを入れる前に、糸ノコ刃が正しく取付けられているか、確認してください。確実でないと外れたりけがの原因になります。

- 本機はキー付スイッチを採用しています。キーをさし込まないとスイッチは入りません。
- スイッチ部分にキーをさし込み、キーをさし込んだレバーをON側へ持ち上げるとスイッチが入り、モーターが回転します。
- スイッチを切るときは、スイッチレバーをOFF側へ、降ろせば切れます。

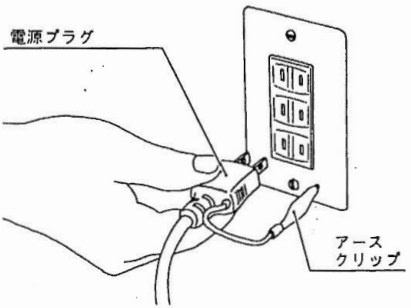
（注）スイッチを切るときは、キーが抜けていても操作ができます。



●電源接続

- 電源コードは、出来るだけ電源コンセントに直接接続してください。
延長コードをご利用になるときは、本体に付いている電源コードと同じ容量のものか、それ以上の容量の延長コードを使用するようにしてください。
（断面積0.75㎟以上のコードを使用してください。）

（注）必要以上に長い延長コードは、電圧低下から十分な能力を発揮できないだけでなく、トラブルの原因にもなりかねません。



- 電源を接続する前に、スイッチが切れていることを確認してください。電源コンセントからプラグ部をしっかりと保持して抜いてください。

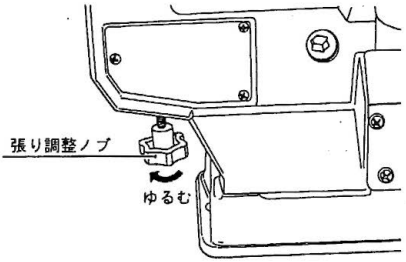
●糸ノコ刃の脱着

⚠ 警 告
・糸ノコ刃の取付け、取外しのときは、スイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
⚠ 注 意
・糸ノコ刃は以下の説明に従って確実に取付けてください。 確実でないと外れたりけがの原因になります。

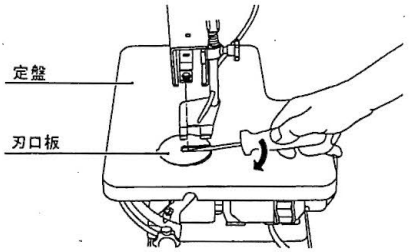
本機は、ピンエンドタイプの糸ノコ刃を専用タイプとして取付けています。通常の糸ノコ刃は、付属品のブレードアダプターを使用して取付けます。

(ピンエンドタイプの糸ノコ刃)

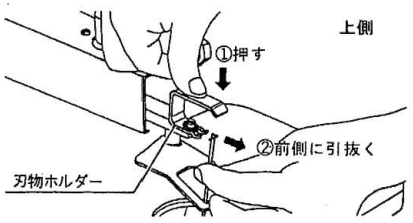
1．糸ノコ刃の張りをゆるめます。張り調整ノブを約2回転、時計の針の回転方向に回し、ゆるめます。



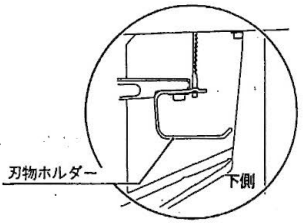
2．刃口板を取外します。刃口板が定盤から抜けないときは、刃口板の開口部に、お手持ちのドライバなど棒状のものを、糸ノコ刃に当らないようさし込み、テコの原理で起して、取外してください。
(注) 刃口板を取外すときに、無理な力を加えたり、刃口板をひねったりしないでください。



3．糸ノコ刃を抜取ります。
・上アームの刃物ホルダーを軽く下方向へ押えながら、上側の刃物ホルダーより糸ノコ刃の上側のピンを、前へ引抜き、取外します。



・次に下アーム先端の刃物ホルダーより、糸ノコ刃の下側のピンを、前側へ移動し、抜取ります。

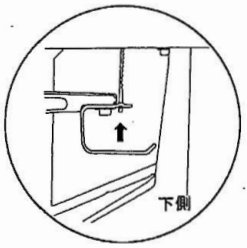


4．糸ノコを取付けます。

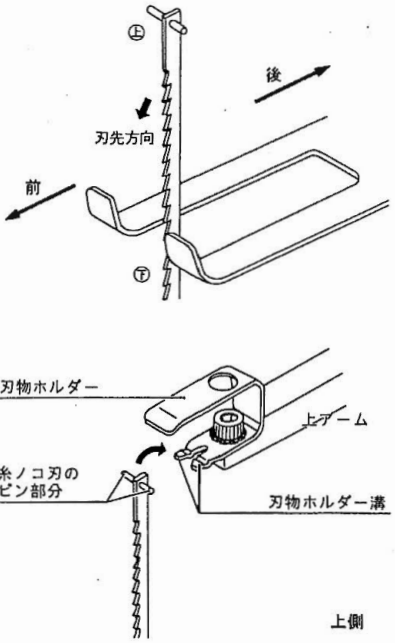
・取付けの際は、糸ノコ刃の方向に注意してください。刃先を前に向け、刃先の山が、下へ向かうようにして取付けます。

・下アーム先端の刃物ホルダーに糸ノコ刃の下側になるピンを掛けます。

・上アーム先端の刃物ホルダーに、糸ノコ刃の上側ピンを掛けます。



・上アームを軽く、下へ押し付けるようにして、ピンを刃物ホルダーの溝に掛けます。正しくかかっていることを確認してください。

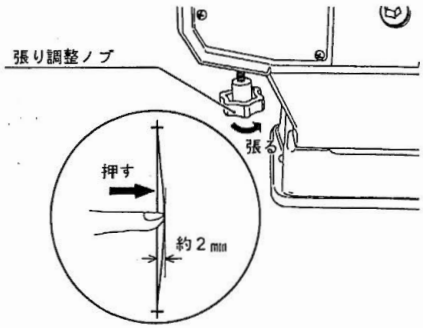


5．糸ノコ刃を張ります。

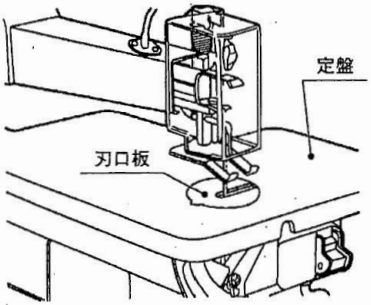
・張り調整ノブを軽く回し、締付けます。

・ピンが移動しない程度に、糸ノコ刃を張り、ここからさらに、張り調整ノブを１回転締付けたところが標準となります。

・糸ノコ刃を横に指で押したとき、約2㎜ぐらいたわむのが標準の張りの目安としてください。張りがゆるいと加工中に糸ノコ刃がたるみ、切れやすくなります。
また、張りすぎたときも疲労から切れやすくなります。



6．刃口板を取付けます。
定盤の切り欠きに合わせ、刃口板を付けます。浮き上がりがないよう、確実に取付けて（押えて）ください。

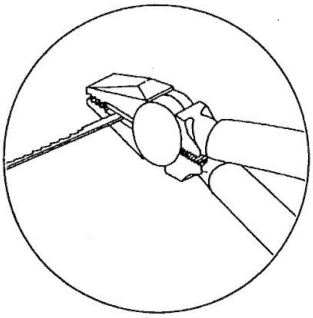


（通常タイプの糸ノコ刃）

⚠ 注 意

- 通常タイプの糸ノコ刃を取付けの為に切断する際は保護めがねをご使用ください。
- 糸ノコ刃は、まっすぐに取付けてください。刃の寿命に影響が出たり、切断の際、曲がって切れるなどの原因となります。
- 糸ノコ刃の端は、ブレードアダプターに確実に入れてから締付けてください。浅かったり、締付けがゆるいと、切断作業中に抜け落ちることがあります。





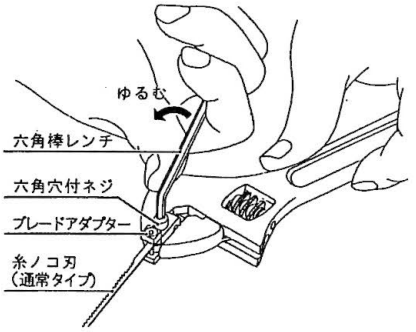
付属品のブレードアダプターを使用し、ピンエンドタイプと同様に本体の刃物ホルダーにセットします。
ピンエンドタイプの糸ノコ刃の脱着の説明を参考にしてください。

1．市販されている通常タイプの糸ノコ刃の両端を、指定の135㎜になるよう、均等にペンチなどで切断します。

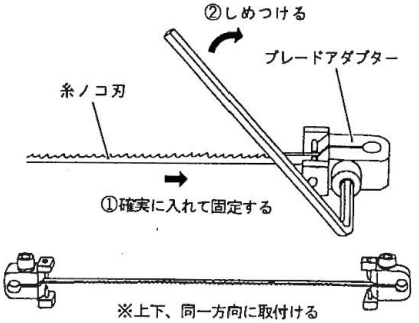


2．付属品として付いているブレードアダプターの六角穴付ネジを、付属品の六角棒レンチ（3㎜）でゆるめます。

（注）切断作業中にゆるみが発生しないよう、強い力で締付けられています。
お手持ちのモンキーレンチや万力などで確実に保持してから六角棒レンチでゆるめてください。



3．前もって指定の長さに切断してある糸ノコ刃をブレードアダプターに合わせ、六角穴付ネジで締付けてセットします。
締付けのときも、ブレードアダプターをモンキーレンチや万力で保持し、確実に締付けて固定してください。

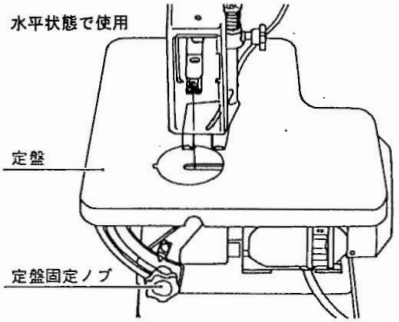


●各部の調整

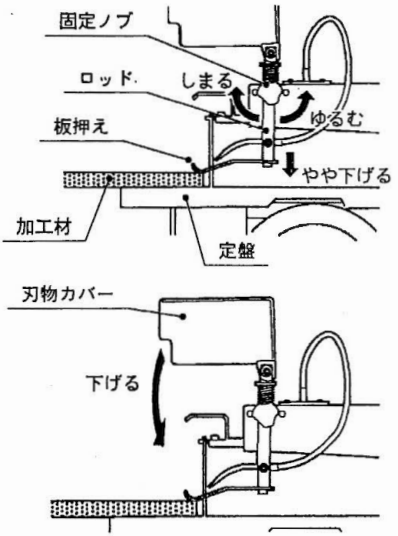
（注）調整の際は、安全のための電源コードを電源コンセントに接続しないでください。

（定盤傾斜角度の調整）
通常は傾斜角度「0°」、定盤は水平の状態にて使用します。

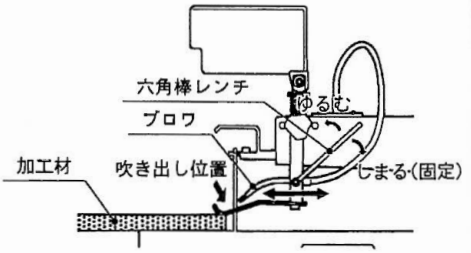
（注）使用中に振動などで定盤固定ノブがゆるまないよう、確実に締付けてください。



（刃物カバー、板押えの調整）
加工材の厚さに合わせ、刃物カバーのロッドを固定している固定ノブをゆるめ、板押えの位置を調整します。板押えの位置を調整します。板押えの両脚の部分が、軽く加工材に当たっている位置より少し下げたところ（約2㎜）に高さ調整をし、固定ノブを締付けて固定します。
糸ノコ刃は、下へ動くときに加工材を切込み、上へ動くとき加工材を持ち上げる力が働きます。
このときの加工材の浮き上がりを防止する為の板押えです。
板押えの高さは調整ができましたら刃物カバーを下へ降ろしてください。



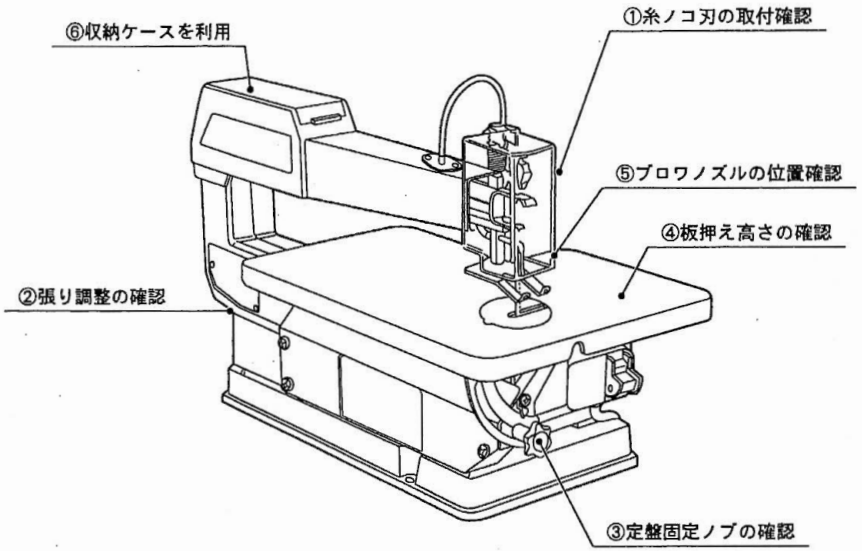
（ブロワの調整）
加工材の切口にブロワの先を合わせます。ブロワを固定しているムシネジを付属品の六角棒レンチを使い、ゆるめ調整します。調整後はブロワが動かないように、軽くムシネジを締めて固定します。



■運転

初めて本機を動かし、切断加工をされるときは、事前に5～10㎜くらいの厚さの不要の板材を用い、テスト切りをしてください。

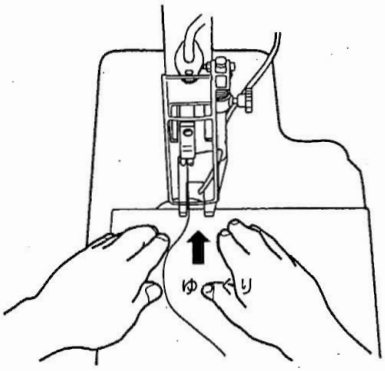
●運転前の点検



① 糸ノコ刃が正しく取付けられているか確認してください。
② 正しく張り調整がされているか確認してください。
③ 定盤の水平状態の確認と定盤固定ノブの締付け確認をしてください。
④ 加工材の厚さに合わせ板押えがセットされているか確認してください。
⑤ ブロワノズルの先が切口に合っているか確認してください。
⑥ 調整用工具や余分な糸ノコ刃は可動部から取除いてあるか確認してください。
（注）調整に使用した六角棒レンチや予備の糸ノコ刃は収納ケースに収めてください。

●運転

1．スイッチが切れていることを確認してから、電源コードのプラグを、電源コンセントに接続してください。
2．スイッチのレバーにキーをさし込み、スイッチをいれ、モーターを回し、糸ノコ刃の上下動を開始させます。
3．糸ノコ刃が働きはじめてから、切断作業を開始します。
4．切断は、糸ノコ刃の上下動の切込み速度に合わせ、ゆっくりと加工材を送ります。
無理に、急いで加工材を送込みますと、切口が荒くなるばかりか、糸ノコ刃に負担がかかり、糸ノコ刃が切れやすくなります。薄板や合板（ベニヤ材など）の場合は、刃の細かいもの（山数の多いもの）で切断してください。また、硬い材質の木も同じように細かい刃を用い、ゆっくりと切断をしてください。細かい刃は、切断の速度は遅くなりますが、曲線の多い加工にも良く、木の硬さにも万能といえますが、軟かい木の場合目づまりをおこしやすく、この場合は荒粗い刃（山数の少ないもの）を使用してください。

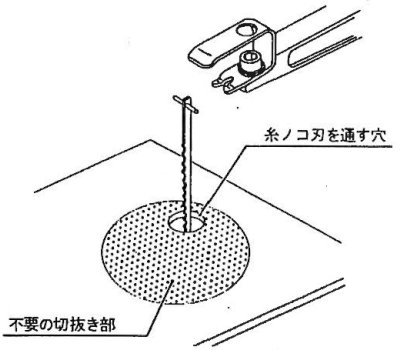


5．運転を終えるときは、加工材から糸ノコ刃を離してからスイッチを切ってください。
（注）加工途中でスイッチを切りますと、糸ノコが加工材に入ったままとなり、加工材が抜けません。また、再スタートするときも、糸ノコ刃を加工材が締付けるため、モーターに必要以上の負担がかかります。糸ノコ刃から加工材を離して、スイッチを切ってください。
スイッチを切ってからキーを抜き、電源コードのプラグをコンセントより外します。
（注）抜いたキーは紛失防止のため、収納ケースに納めてください。

■特殊な切断

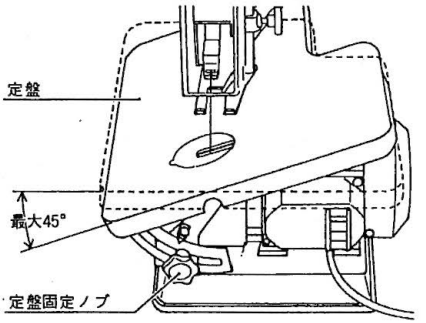
●切抜き加工

- あらかじめ、不要となる加工材の位置に糸ノコ刃のピンエンド又は、ブレードアダプターが通じるサイズの穴をドリルなどで開けておきます。
  穴を小さくするためには、ピンエンドタイプの糸ノコ刃を使用されることをおすすめします。
- 本体の刃物ホルダーより糸ノコ刃をはずし、加工材に開けた穴に糸ノコ刃を通したのち、再度、糸ノコ刃を刃物ホルダーにセットします。
  糸ノコ刃の取外し、取付けは、糸ノコ刃の脱着のページ（9ページ～11ページ）をご覧ください。
  （注）このときスイッチは切った状態にて行ない、念のため、キーを抜いてください。電源コードも電源コンセントから抜くことをおすすめします。
- 作業を終了されましたら、再度糸ノコ刃を本体の刃物ホルダーよりはずし、加工材より糸ノコ刃を抜取ります。



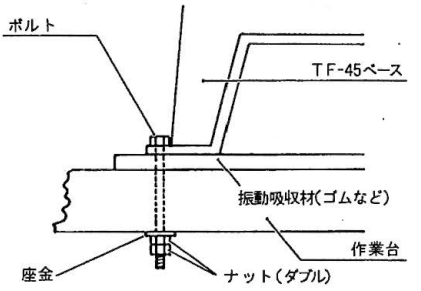
●傾斜切断

- 定盤は、左側を45度まで（下げる方向で）傾斜できます。
- 定盤固定ノブをゆるめ、角度目盛を見ながら任意の角度まで傾斜させます。
  角度の設定ができましたら、定盤固定ノブを締付けて、固定します。

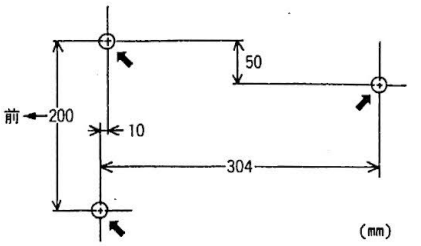


●作業台への固定

安定した作業を計画されるときは、卓上糸ノコ盤本体を、お手持ちの作業台に固定して、利用されることをおすすめします。固定の際は作業台と本体との間に、振動を吸収するための10㎜厚前後のゴム板、または振動吸収用フォーム材などをはさんでください。ナットは、振動によるゆるみ防止のため、2個（ダブルナット）で締付けてください。ボルトはφ8㎜のものを使用し、固定する作業台にあける穴は、φ8.5㎜程度としてください。
図のように市販のボルト、ナットを使い、3ヵ所でしっかりと固定してください。
穴の位置は右図を参考にあけてください。



固定用穴の位置



■保守と点検

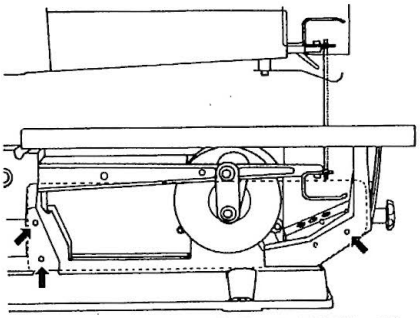
⚠ 警 告
・保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

● ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

● 使用後は油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。
時々定盤下のカバーを外し内部に（下アームや刃物ホルダーの下に）たまった切り粉などをとり除いてください。
※定盤下のカバーを外すときは、３ヶ所のネジをゆるめて、カバーを取外します。
※清掃作業を終えたら、必ずカバーは元のように取付けておいてください。



←カバー取外しネジ位置（３ヶ所）

●作業後の保管

● 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

● 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、お買上げ販売店、または最寄りのリョービ販売営業所にお気軽にお問い合せください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社　　リョービ株式会社